

〔八丈島特産園芸作物における生産振興技術対策〕
レイ・プランツの品目の充実を目指した栽培および出荷技術の確立
～プルメリアの花および枝葉の形質～
下野大輝・小糸優華・野口 貴
(島しょセ八丈)

【要 約】「ドワーフシンガポールピンク」の花は小さく、白い。「セラダイン」の花は白と黄色で、大きい。「マヤ」の花は薄紫で、葉に白の斑が入る。「インディア」の花は淡い紫に赤や黄の模様が入る。「ポールウェッチ」の花は黄色で、花卉が桃色で縁取られる。

【目 的】

八丈島ではレイ・プランツとしてティーリーフを生産している。一方で、主な出荷先であるフラ教室からは葉物だけでなく花物への要望があがっている。中でもプルメリアは南国を彷彿させる花であり、レイの花材として人気がある。本試験ではプルメリア5品種の花および枝葉の形質を明らかにし、八丈島におけるレイ・プランツ生産の基礎資料とする。

【方 法】

2018年4月26日に、2年生以上のプルメリア「ドワーフシンガポールピンク (DSP)、セラダイン (Cd)、マヤ (My)、インディア (Id)、ポールウェッチ (PW)」を各1本、ハウス内に定植し、花の色、大きさ、葉の形、大きさを調査した。株間、条間は共に2mとした。施肥は基肥としてN-P₂O₅-K₂Oを成分量で15-20-15kg/10a施用し、追肥として各成分量15kg/10a/年施用した。

【成果の概要】

1. 「DSP」は白に桃色の斑が入る花色であった(表1, 図1)。「Cd」は白に、黄の模様が全体に広がる花色であった。「My」は全体が淡い紫で、中心付近が黄橙の花色であった。「Id」は全体が淡い紫で、赤や黄の模様が入る花色であった。「PW」は全体が黄、花卉の片側をくすんだ桃色が縁取る花色であった。
2. 花径は「Cd」が最も大きく、「DSP」が最も小さかった(表2, 図1)。花卉は「DSP」が長卵形、「My」が円形、それ以外の品種は卵形であった。「Cd」の花卉は花の裏側へ振り返る傾向が強かった。
3. 葉長、葉幅は「Id」が最も大きく、「DSP」が最も小さかった(表3)。節間は「Id」が最も広く、「My」が最も詰まっていた。枝径、枝長は「Id」が最も大きく、「DSP」が最も小さかった。葉先の形状は「DSP」のみ突端がなく、他の品種には突端がみられた。「DSP」の葉は他の品種よりも光沢が強かった。「My」の葉には白色の斑がみられ、盛夏期には葉の大部分が白色になった。「PW」は他の品種よりも枝が柔らかかった。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 本試験では八丈事業所で保有していた品種とフラ業界で人気が高いとされる大輪系の品種を対象に調査を行った。
2. プルメリアの花は芳香を有していたが、本試験では香りの評価を行わなかった。GC-MS分析やAESA (Analysis Extract Dilution Analysis) を行うことで、客観的な香りの評価を行うことができる。

表1 各品種の花色

品種	下色	上色 ^a	上色の入り方
ドワーフ シンガポール ピンク	Yellowish White (NN155D)	①Vivid Reddish Orange(44B)～ Brilliant Orange Yellow(23B) ②Strong Purplish Red(64B)～ Light Purplish Pink(65B)	①花の中心から放射状に広がる ②絵具をにじませたような模様
セラダイ ン	Greenish White (NN155C)	Vivid Yellow(14A)～Light Greenish Yellow(6D)	花の中心から花弁の先端まで、 放射状に広がる
マヤ ^b	淡い紫	黄橙	花の中心付近に薄く広がる
インディア	Deep Purplish Pink(70C)	①Deep Red(53A)～ Moderate Red(N45A) ②Brilliant Yellow(7B)	①花の中心から放射状に広がる ②花の中心から薄く全体的に広 がる
ポールウェ ッチ	Brilliant Yellow (13B)	Strong Pink(48C)	花弁の片側3分の1を縁取るよ うに広がる

①は第6版RHS Colour Chartの数値。花は10月中旬に開花したものを使用した。

a)グラデーションになっているものは、最も濃い色と最も薄い色を評価し、～で繋げて表記した。

b)2019年に開花がみられなかったため、カラーチャートによる色の評価は行わなかった。

表2 各品種の花径と花弁の形状

品種	花径 ^a (cm)	花弁の 形状
ドワーフシンガポールピンク	5.3	長卵形
セラダイ ン	8.4	卵形
マヤ	N D	円形
インディア	7.6	卵形
ポールウェ ッチ	7.5	卵形

ND:調査時に花が得られなかったため、測定を行わなかった。

a)10花の平均値

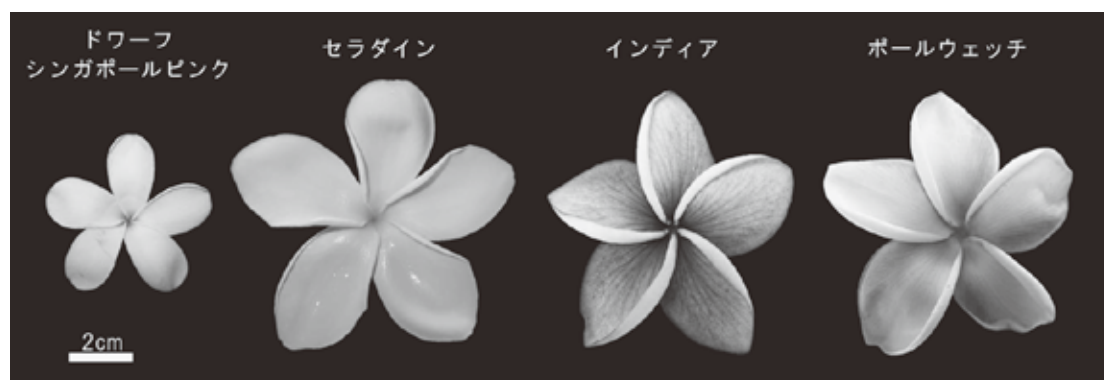


図1 プルメリアの写真

表3 葉の形質

品種	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	節間 (cm)	枝径 (cm)	枝長 ^a (cm)	葉の形	その他特徴
ドワーフ シンガポール ピンク	28	8	0.8	1.8	26	長楕円形 円頭	葉の光沢が強い
セラダイ ン	58	13	1.5	3.3	73	倒披針形 鋭頭	
マヤ	34	11	0.6	3.5	55	倒卵形 円頭凸端	葉に白色の斑が入る
インディア	66	19	2.3	3.7	121	倒卵形 円頭凸端	
ポールウェ ッチ	59	14	1.5	2.5	65	倒披針形 円頭凸端	枝が柔らかい

各項目の調査数は5とした

a)分枝してから次に分枝するまでの枝の長さを測定した